

## 安全データシート

## ナトリウム=アルキル(C=16~18)=スルファート

改訂日: 2024-05-09 版番号: 1

## 1. 化学品及び会社情報

## 製品識別子

製品名 : ナトリウム=アルキル(C=16~18)=スルファート  
CB番号 : CB6506322  
CAS : 68955-20-4  
同義語 : ナトリウム=アルキル(C=16~18)=スルファート

## 物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途 : 洗剤原料、界面活性剤  
推奨されない用途 : なし

## 会社ID

会社名 : Chemicalbook  
住所 : 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟  
電話 : 400-158-6606

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

## 分類実施日

H21.3.31、政府向けGHS分類ガイダンス(H20.9.5版)を使用

## 物理化学的危険性

火薬類 分類対象外  
可燃性・引火性ガス 分類対象外  
可燃性・引火性エアゾール 分類対象外  
支燃性・酸化性ガス類 分類対象外  
高压ガス 分類対象外  
引火性液体 分類対象外  
可燃性固体 分類できない  
自己反応性化学品 分類対象外  
自然発火性液体 分類対象外  
自然発火性固体 区分外  
自己発熱性化学品 分類できない  
水反応可燃性化学品 分類対象外  
酸化性液体 分類対象外

酸化性固体 分類できない

有機過氧化物 分類対象外

金属腐食性物質 分類できない

#### 健康に対する有害性

急性毒性(経口) 区分外

急性毒性(経皮) 分類できない

急性毒性(吸入:ガス) 分類対象外

急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない

急性毒性(吸入:粉じん) 分類できない

急性毒性(吸入:ミスト) 分類対象外

皮膚腐食性・刺激性 区分外

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分2B

呼吸器感作性 分類できない

皮膚感作性 区分外

生殖細胞変異原性 分類できない

発がん性 分類できない

生殖毒性 分類できない

特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) 分類できない

特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) 区分外

吸引性呼吸器有害性 分類できない

#### 環境に対する有害性

水生環境急性有害性 区分2

水生環境慢性有害性 区分2

#### ラベル要素

##### 絵表示又はシンボル

GHS05

#### 注意喚起語

警告

#### 危険有害性情報

眼刺激

水生生物に毒性

長期的影響により水生生物に毒性

#### 注意書き

##### 【安全対策】

取扱い後はよく手を洗うこと。

環境への放出を避けること。

##### 【応急措置】

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼に入った場合、眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

漏出物を回収すること。

#### 【保管】

データなし

#### 【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

---

### 3. 組成及び成分情報

|                   |   |
|-------------------|---|
| 化学名又は一般名          | : ナトリウム=アルキル(C=16~18)=スルファート  |
| 別名                | : (Sulfuric acid, mono-C16-18-alkyl esters, sodium salts)、ナトリウム=アルキル(C=16~18)=スルファート、(Sodium alkyl(C16-18) sulfate) |
| 分子式(分子量)          | : 特定できず   |
| CAS番号             | : 68955-20-4  |
| 官報公示整理番号(化審法・安衛法) | : 化審法- 安衛法-   |
| 分類に寄与する不純物及び安定化添加 | : データなし   |
| 濃度又は濃度範囲          | : 100%  |

---

### 4. 応急措置

#### 吸入した場合

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

#### 皮膚に付着した場合

水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

#### 目に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。

#### 飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

#### 予想される急性症状及び遅発性症状

データなし

#### 最も重要な兆候及び症状

データなし

#### 応急措置をする者の保護

データなし

#### 医師に対する特別注意事項

データなし

---

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類

### 使ってはならない消火剤

棒状放水

### 特有の危険有害性

熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。

激しく加熱すると燃焼する。

火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。

### 特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

安全に対処できるならば着火源を除去すること。

### 消火を行う者の保護

適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具および緊急措置

全ての着火源を取り除く。

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。

密閉された場所に立入る前に換気する。

### 環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

### 回収・中和

漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。

### 封じ込め及び浄化方法・機材

水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。

### 二次災害の防止策

すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

### 技術的対策

『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

### 局所排気・全体換気

『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

### 安全取扱い注意事項

取扱い後はよく手を洗うこと。

眼に入れないこと。

### 接触回避

データなし

## 保管

### 技術的対策

特別に技術的対策は必要としない。

### 混触危険物質

データなし

### 保管条件

容器を密閉して冷乾所にて保存すること。

### 容器包装材料

データなし

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理濃度

未設定

### 許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

#### 日本産衛学会

未設定(2008年度版)

#### ACGIH

未設定(2008年度版)

### 設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

## 保護具

### 呼吸器の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。

### 手の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

### 眼の保護具

適切な眼の保護具を着用すること。

#### 皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用すること。

#### 衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

### Information on basic physicochemical properties

|   |       |
|---|-------|
| 形状  | 固体    |
| 色   | データなし |
| 臭い  | データなし |
| pH  | データなし |
| 約 55℃ (IUCLID data sheet, 2000)                           |       |
| データなし   |       |
| データなし   |       |
| >400℃ at 1013 hPa (IUCLID data sheet, 2000)               |       |
| データなし   |       |
| データなし   |       |
| データなし   |       |
| データなし   |       |
| データなし   |       |
| ca. 1g/cm <sup>3</sup> at 20 °C (IUCLID data sheet, 2000) |       |
| データなし   |       |
| データなし   |       |
| データなし   |       |
| データなし   |       |
| データなし   |       |
| データなし   |       |
| データなし   |       |

#### 融点・凝固点

約 55℃ (IUCLID data sheet, 2000)

#### 沸点、初留点及び沸騰範囲

データなし

#### 引火点

データなし

#### 自然発火温度

>400℃ at 1013 hPa (IUCLID data sheet, 2000)

## 燃焼性(固体、ガス)

データなし

## 爆発範囲

データなし

## 蒸気圧

データなし

## 蒸気密度

データなし

## 蒸発速度(酢酸ブチル=1)

データなし

## 比重(密度)

ca. 1g/cm<sup>3</sup> at 20 °C (IUCLID data sheet, 2000)

## 溶解度

データなし

## オクタノール・水分配係数

データなし

## 分解温度

データなし

## 粘度

データなし

## 粉じん爆発下限濃度

データなし

## 最小発火エネルギー

データなし

## 体積抵抗率(導電率)

データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

### 安定性

法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる

### 危険有害反応可能性

データなし

## 避けるべき条件

データなし

## 混触危険物質

データなし

## 危険有害な分解生成物

データなし

---

# 11. 有害性情報

## 急性毒性

### 経口

ラットを用いた経口投与試験(Directive 84/449/EEC, B.1、GLP)のLD50値>2,000 mg/kg (SIDS(2007)、IUCLID(2000))から区分外とした。

### 経皮

データがないので分類できない。

なお、C12-13-及びC10-16-アルキルサルフェイトについては、LD50値>500 mg/kg (SIDS(2007))との記述がある。

### 吸入

吸入(ガス): GHS定義上の固体であるため、ガスでの吸入は想定されず、分類対象外とした。

吸入(蒸気): データがないので分類できない。

吸入(粉じん): データがないので分類できない。

## 皮膚腐食性・刺激性

ウサギを用いた皮膚刺激性・腐食性試験(OECD TG 404)において、本物質濃度31.5%までは「slight irritation」(SIDS(2007))と記述されている。また本物質単品の4時間投与試験(OECD TG 404、GLP)で「slightly irritating」(IUCLID(2000))と記述されている。以上から区分外とした。

## 眼に対する重篤な損傷・刺激性

ウサギにおいて、本物質濃度25%で「mild irritant」(SIDS(2007))と記述されている。一方、本物質単品の眼刺激性・腐食性試験(OECD TG 405、GLP)で、角膜及び結膜に中程度から強度の障害がみられるが、1週間以内に回復し、刺激性指数は4.2である(IUCLID(2000))と記述されている。以上から区分2Bとした。

## 呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性: データがないので分類できない。

皮膚感作性: モルモットを用いたMaximization試験(OECD TG 406、GLP)で皮膚感作性を示さない(IUCLID(2000))、及びアルキル硫酸塩はOECD TG 406試験で皮膚感作性を示さない(SIDS(2007))との記述から区分外とした。

## 生殖細胞変異原性

in vivoで、アルキル硫酸塩は、マウスを用いた小核試験、染色体異常試験、優性致死試験で遺伝毒性を示さない(SIDS(2007))との記述があるが、本物質についての詳細なデータは記述されていないので分類できない。in vitroでは、細菌を用いたAmes試験(OECD TG 471、GLP)で陰性(IUCLID(2000))、アルキル硫酸塩は細菌及び哺乳類培養細胞を用いた試験で変異原性を示さない(SIDS(2007))と記述されている。

## 発がん性



主要な国際的評価機関による評価がなされておらず、データもないので分類できない。

なお、アルキル硫酸塩(C12-15 ASO4 Na)は、ラットを用いた2年間混餌投与試験で発がん性を示さなかった(SIDS(2007))と記述されている。

## 生殖毒性

ラット、マウス、ウサギを用いた、本物質を含む種々のアルキル硫酸塩の発生毒性試験において、児への影響(胎児死亡、同腹の児死亡指数の増加)は、母動物への影響(食欲不振、体重減少、死亡)が顕著にみられる用量(ラットで300-500 mg/kg)に限定される(SIDS(2007))と記述されている。児への影響は母動物の二次的影響とみなせるが、断定できず分類できない。

---

## 12. 環境影響情報

### 水生環境急性有害性

魚類(ゼブラフィッシュ)での96時間LC50=5.2 mg/L(IUCLID, 2000)であることから、区分2とした。

### 水生環境慢性有害性

①急速分解性が無く(BIOWIN)、甲殻類(オオミジンコ)の21日間NOEC = 16.5 mg/L(IUCLID, 2000)から、区分外とした。②急性毒性区分2であり、急速分解性が無い(BIOWIN)ことから、区分2とした。以上の結果から、厳しい結果を採用し、区分2とした。

---

## 13. 廃棄上の注意

### 残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

### 汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

---

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

#### 海上規制情報

該当しない

#### 航空規制情報

該当しない

#### UN No.

該当しない

### 国内規制

#### 陸上規制情報

該当しない

#### 海上規制情報

該当しない

#### 航空規制情報

該当しない

#### 特別安全対策

移送時にイエローカードの保持が必要。

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

重量物を上積みしない。

---

## 15. 適用法令

### 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

新規指定化学物質(第2種)(平成20年11月21日公布、平成21年10月1日施行、PRTR:平成22年4月1日把握開始、平成23年4月1日届出開始) アルキル硫酸エステルナトリウム(アルキル基の炭素数が16から18までのもの及びその混合物に限る。)(政令番号:2-7)

### 化審法

優先評価化学物質

---

## 16. その他の情報

### 略語と頭字語

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

EC50: 有効濃度 50%

IATA: 国際航空運送協会

IMDG: 国際海上危険物

LC50: 致死濃度 50%

LD50: 致死量 50%

RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規則

STEL: 短期暴露限度

TWA: 時間加重平均

### 参考文献

【1】労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>

【2】化学物質審査規制法(化審法)<https://www.env.go.jp>

【3】化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) <https://www.chemicoco.env.go.jp>

【4】NITE化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)<https://www.nite.go.jp/>

【5】カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>

【6】ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>

【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>

【8】eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト <http://www.echemportal.org/echemportal/index?>

- 【9】 ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト<http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>
- 【10】 有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト<http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>
- 【11】 HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>
- 【12】 IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>
- 【13】 IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト<http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>
- 【14】 Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>

**免責事項:**

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。